

平成24年度新しい公共の場づくりのためのモデル事業

いわて文化支援ネットワーク通信

アシスト・なう

4号

発行日

平成24年11月1日

発行:特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター / 印刷:杜陵高速印刷株式会社

- 1面 2012盛岡市ボランティアまつり ふれあい広場inたろう ■2面 東日本大震災復興支援朗読舞台「12の贈り物」公演記録
 ■3面 末盛千枝子のお話会「こんな本が好き」/市民クラウンカレッジin盛岡2012 ■4面 11月イベント案内、事務所便り



10月28日(日)、盛岡市ボランティアまつりが宮古市田老のグリーンピア三陸みやこ敷地内の仮設団地集会所周辺で開催されました。

ビューとなったこの日は、紅葉の木々に小雨そぼ降る寒い日となりましたが、カラフルな衣装に赤鼻のクラウンは、ボランティアまつりに訪れた皆さんの笑顔を誘っていました。

2012盛岡市ボランティアまつり ふれあい広場inたろう



「怪しい〜」。個性派もいます。



握手をせがまれたり、一緒に写真を撮ったり、ちょっとだけアイドル気分です。

3.11絵本プロジェクトいわて主催 末盛千枝子のお話会「こんな本が好き」

開催日:2012年10月3日(水) 会場:盛岡市中央公民館会議室

【末盛千枝子さん】
東京生まれ。彫刻家、舟越保武氏(故人)の長女として生まれ、小学校時代を父の郷里である盛岡で過ごす。1988年すえもりブックスを設立。2002年〜06年、国際児童図書評議会(IBBY)の国際理事としても活躍。2010年から八幡平市在住。東日本大震災後、「被災地で心の傷を負った子どもたちへ絵本を贈ろう」と「3・11絵本プロジェクトいわて」を発足。2012年8月、ロンドンで開催されたIBBY33回世界大会では、同プロジェクトについて報告し、大きな共感を呼んだ。



著名な家庭に生まれながら、決して平たんな人生ではなかったと思えます。
7人兄弟の長女に生まれ、「戦後若い父のもとで我が家は大変だったけれど、絵や彫刻のある所で育ちました」と当時を振り返り思い出をお話されました。
末盛さんのエピソードにはいつも「物語」があります。津波で失くしてしまったお気に入りの絵本と同じ絵本を探していた男の子の話。まちを渡った海の砂の中に埋まっていた小さいピンクのゾウのぬいぐるみを見つけ、首に下げられた壊れた鈴を眺めながら、かつての持ち主に思いを馳せます。
「一人の子どもが亡くなるということとは、『わたし』というその子のまわりの人間関係のすべてを持って亡くなるということ。これはとても大変なこと」と生も死も生きる勇気も悲しみの処し方も、みんな絵本が教えてくれた。講座では、編集者としても名高い末盛さんの思い出の絵本の数々を紹介していただきました。「3・11絵本プロジェクトいわて」の活動を通して、子どももおとなもなく、被災地により多くの絵本が届けられることを願わずにはいられません。

盛岡市提案型復興推進事業「市民クラウンカレッジin盛岡2012」

開催日:2012年10月6日(土)~8日(月) 会場:いわてアートサポートセンター



「たくさんの方に笑顔をお届けしたい！」市民クラウンを目指す15人が、3日間に渡りクラウンのパーツやマンサやメイキャップを学びました。「あなたが笑顔をお届けしたいと思うその人に何が出来るかということよりも、その方々に対して何とかしてあげたいという気持ち

ちを持つてること自体がクラウンとして一番大事。それ以上のものはないんですよ」クラウン育成の第一人者で、プロのクラウンとして活躍されている講師の白井博之さんは、岩手で初めての市民クラウンに熱いメッセージを送って下さいました。

東日本大震災復興支援朗読舞台「12の贈り物」公演記録

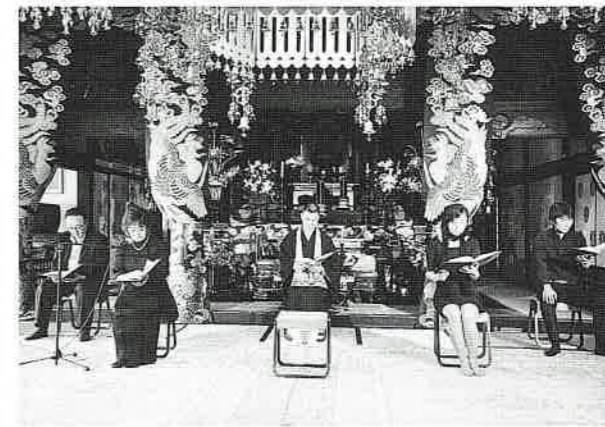


「ツツジとドクロ」

音響卓の場所の都合上、私はいつもそこから客席越しの「12の贈り物」を観てきました。その後ろ姿がこくこくと頷いたり、首を傾げたり、笑いが興つたり、又は観劇後退場なさる際にちらと見える表情だったり。それらあらゆる気持ちとして皆様から支援金を募り、被災地の文化支援に充てられる、私は音響としてその一助が出来たことを大変嬉しく思います。関わって下さった全ての方々へ、本当にありがとうございます。ございました。

(音響・佐藤桐華)

2011年夏、東日本大震災の文化復興及び被災地支援にむけて岩手県在住の12人の作家の自選短編集「12の贈り物」が刊行されました。そして岩手の演劇人・アナウンサーなどの有志が力をあわせて、この短編集をもとにこれまで朗読舞台を上演してきました。その舞台の多くにスタッフとして関わった若手演劇人の二人から感想を寄せていただきました。



「お菊の皿」ゆかりの盛岡市大泉寺本堂にて

東日本大震災復興支援朗読劇には今年の2月から照明スタッフとして関わった。朗読舞台が進んでいくにつれ、作品にこめられた、作家さん、演じる方々、観に来て下さったお客様の震災への思いに触れ、震災がどういものだったか、演劇が復興支援にどう関わっているのかということなどを学んだ。被災地での公演も参加させて頂き様々なことを見て聞くことができた。朗読舞台に携われたことは大切にしたい経験である。

(照明・橋本佳織)

これまでの公演記録

- ◆ 2・24 「木島先生」(作・及川和男)、
「桃の花が咲く」(作・柏葉幸子)
会場:いわてアートサポートセンター風のスタジオ
- ◆ 5・20 「バラオ残照」(作・松田十刻)
会場:盛岡市中央公民館企画展示室
- ◆ 5・27 「注文の多い料理店」
「セロ弾きのゴーシュ」(作・宮沢賢治)
会場:釜石市農家レストラン「こすもす」別館
- ◆ 6・2 「野ざらしの唄」(作・長尾宇迦)
会場:盛岡市中央公民館企画展示室
- ◆ 6・10 「黄色いライスカレー」(作・平谷美樹)
会場:同
- ◆ 6・23 中津文彦さん追悼公演「お菊の皿」(作・中津文彦)
会場:盛岡市大泉寺
- ◆ 6・24 「ツツジとドクロ」(作・石野晶)
会場:盛岡市中央公民館企画展示室
- ◆ 7・7 「七番目の方角」(作・斎藤純)
会場:いわてアートサポートセンター風のスタジオ
- ◆ 7・8 「現場痕」(作・北上秋彦)
会場:同
- ◆ 8・4 「黄色いライスカレー」(作・平谷美樹)
会場:野田村生涯学習センター多目的ホール
- ◆ 「愛の記憶」(作・高橋克彦)、「雨ニモマケズほか」(作・宮沢賢治)
「桃の花が咲く」(作・柏葉幸子)
- ◆ 8・8 「盛岡公演」会場:盛岡市中央公民館企画展示室
- ◆ 8・11 「東京公演」会場:新宿芸能花伝舎
- ◆ 9・15 「キサブロー、帰る」(作・大村友貴美)
会場:いわてアートサポートセンター風のスタジオ
- ◆ 9・23 宮古劇研麦の会合同公演
「虔十公園林」(作・宮沢賢治)ほか
会場:宮古市そけい幼稚園
- ◆ 10・12 「黄金熊の里」(作・菊池幸見)
会場:いわてアートサポートセンター風のスタジオ

いわてフィルハーモニーが 「第1回ウィーン・フィル& サントリー音楽復興祈念賞」 を受賞しました!!

速報

「ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」は、日本の音楽文化を活性化することで、被災地および日本全体に活力を与え続けていくことを目的に、クラシック音楽を主体とする演奏活動や音楽普及活動等に与えられるものです。

「いわてフィルハーモニー」は2013年に開催予定の2公演の活動が評価され、この度の受賞となりました。7月にはウィーンフィルメンバーによるクリニックも予定しています。

IASC事務所便り

秋を十分に楽しむ間もなく、冬を感じる季節になってきました。震災から1年と8ヶ月。県内のみならず、国内、海外からも支援をいただき、いわて文化支援ネットワークは活動を続けております。

今日まで続いてきた皆様の温かいお気持ち。今後も大切に受け止め、支援へと繋げさせていただきます。(佐野)

編集後記

いつも印刷所泣かせの鈍足ですが、月末にいわてフィルハーモニーの嬉しいニュースが入り、速報で掲載できました。県内の様々な復興支援活動のなかでも、いわてフィルは異色の活動と言えましょう。支援活動を通し、オーケストラと地域や学校がこんなにも近くなりました。(U)

BOYS & GIRLS CHOIR OF HARLEMNI ALUMNT ENSEMBLE

太平洋の橋コンサート 「新渡戸稲造生誕150周年記念」 Bridge Across the Pacific Concert

■2012年11月23日(金) 15:00～

釜石、宝樹寺

協力/釜石合唱協会

■2012年11月24日(土) 14:00～

陸前高田モビリア仮設・北集会所

主催/モビリア自治会

■2012年11月25日(日) 11:00～

岩泉町、小本生活改善センター

協力/小本地域振興協議会

■2012年11月26日(月) 17:40～

東京池袋サンシャインシティB1F噴水広場ステージ

共催/「架け橋プロジェクト」

特別ゲスト/俳人 黛まどか

主催/『9.11風の環コンサート』、いわてフィルハーモニー、
いわて文化支援ネットワーク



いわて文化支援ネットワーク

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町4-20永卯ビル3F
NPO法人いわてアートサポートセンター内
☎019-604-9020
E-mail:arts@ictnet.ne.jp
http://ibsn.web.fc2.com/

●支援金振込先(振り込み手数料は負担願います)

■みずほ銀行 盛岡支店(普)1190698*

■ゆうちょ銀行 店名【八三八】(普)0808732*

※いずれも口座名:いわて文化支援ネットワーク

■岩手銀行 中ノ橋支店(普)2044173

口座名:いわてアートサポートセンター文化支援 代表 瀬川君雄

現在の支援金総額 **7,885,538円** (H24.10.30現在)

ご支援、ご協力ありがとうございます。